

海況速報

平成 25 年度 第 4 号 (通算 No.154)
平成 25 年 11 月 12 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@fishexp.pref.hokkaido.jp

9 月中旬～10 月下旬の海況

☆日本海海域

前回 8 月に引き続き、積丹半島の西方沖に強い暖水渦が形成されています (指標: 200m 層水温 6°C 以上)。また、日本海のはるか沖合からせたな沖にかけては沖合冷水が張り出しています (指標: 100m 層水温 3°C 以下)。このため、対馬暖流はせたな沖では沿岸寄りを流れていますが、積丹半島付近では暖水渦の西側へ大きく迂回し流れています。

対馬暖流の流量は、例年よりも 2 割程度多くなっています。

水温は、表面では全域にわたり、例年よりも 1~3°C 高くなっています (水温偏差表参照)。50m~100m 層水温では、宗谷海峡西方沖で 2~3°C、積丹半島西方沖で 2~5°C、松前西方沖で 2~5°C 例年よりも高くなっています (水温偏差表参照)。一方、北緯 42 度 30 分と北緯 44 度 30 分では、50m~100m 層水温は例年より 2°C 程度低くなっています (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、7 月中旬から低下傾向にありましたが、10 月中旬から上昇傾向に転じ、11 月上旬では「やや高い」になっています。

☆道東太平洋海域

道東沿岸の根室からえりも岬にかけては道東沿岸流 (*1) が流れており (指標: 100m 層水温 6°C 以上)、その沖合には親潮系水 (指標: 100m 層水温 5°C 以下) が道東海域を広く覆っています。また、沖合の北緯 41 度、東経 144 度の海域では黒潮系北上暖水 (指標: 200m 層水温 7°C 以上) が全深度にわたりみられます。

水温は、表面で例年よりも低い海域が多いですが、道東沿岸流が流れる道東沿岸の 100m 層では例年よりも 3~4°C、黒潮系北上暖水の分布域では例年よりも 2~8°C 高くなっています (水温偏差表参照)。

☆道南太平洋海域

津軽暖流は渦モード (*2) から沿岸モード (*2) へ移行中です (指標: 200m 層水温 7°C 以上)。

水温は全体的に例年並ですが、えりも岬沖では、津軽暖流が例年よりも早く沿岸モードへ移行し始めているため、例年よりも 2~3°C 低くなっています (水温偏差表参照)。

☆オホーツク海海域

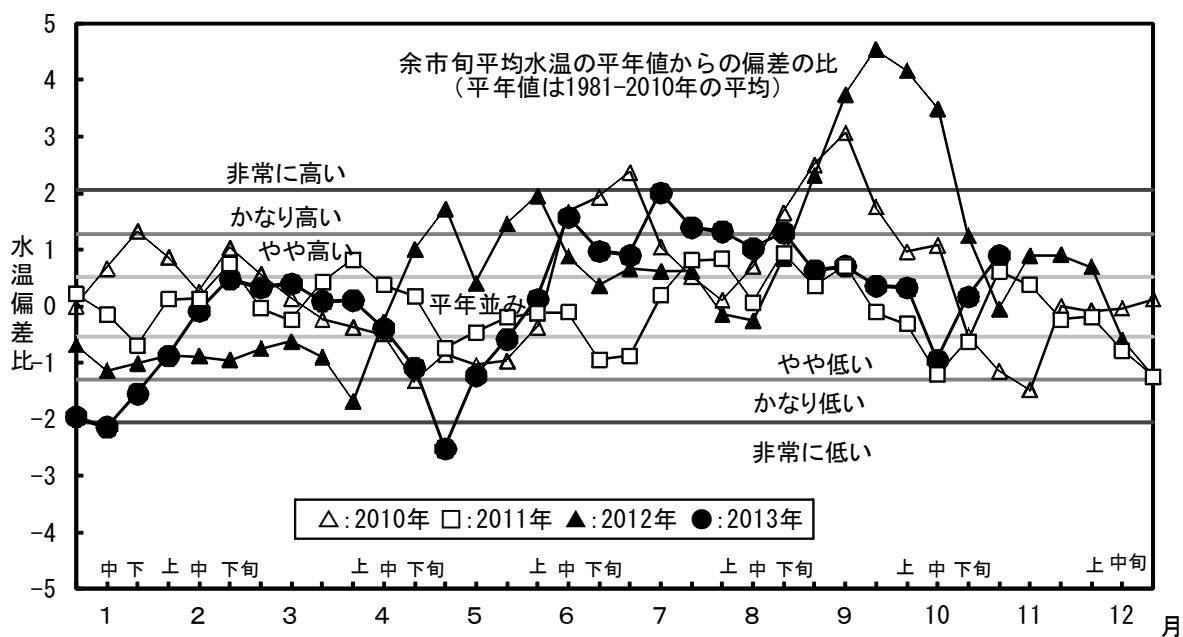
宗谷暖流 (指標: 50m 層水温 7°C 以上) がオホーツク沿岸を順調に流れています。また、宗谷暖流の幅は例年よりも広がっています。

水温は宗谷暖流が流れる沖合の海域で例年よりも 2~4°C 高くなっています (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2013/9/18-9/19	(オホーツク海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2013/9/24-9/26	(道北日本海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2013/9/19	(オホーツク海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2013/10/23-10/25	(道東太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	2013/9/24-9/29	(道西道南日本海海域)
函館水試 (金星丸)	2013/10/28-10/31	(道南太平洋海域)

* 1 : 夏～秋季に道東沿岸を流れるオホーツク海起源の沿岸流を道東沿岸流と呼んでいます。

* 2 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/keitai/k-index.html>

右に QR コードがあります。



